

◆ 2021 年度 活動 報告 シ ー ト ◆

団体名：原市沼を愛する会
代表者：代表 飯坂 陽治
URL :

24A-33

1. 活動が必要とされた状況

上尾市・原市沼川のそばに蓮池を作り、古代蓮を育て始めて27年になります。

蓮池は、観蓮者が蓮を身近で楽しめるよう遊歩道で区切られた20の池からなり。多い時は来客数が1万人を越え、現在に至っています。池の周りの土止めは、ベニヤ板と間伐材の木杭から耐久性のある資材に変え、耐久年数を伸ばして、ボランティアの労力軽減を図り、遊歩道の安全性を保持していくよう土止め補修と安全柵の設置を進めています。さらに、蓮池の遊歩道に除草シートを敷き草取り作業の改善も併せて進めています。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

10月～12月、上池・竹池・梅池・側溝の老朽化部分の土手補修を、耐久性資材（鋼板と鉄パイプ）を使って行うとともに、主要遊歩道の約半分に除草シートを敷設しました。



（蓮池の土留め作業）



（除草シート敷設作業）

3. 活動の成果

遊歩道の安全性、遊歩道に敷いた除草シートの成果は2022年夏の原市沼蓮池の一般開放時に、よりはっきりすると思います。



（蓮池の老朽化所の土止め）



（メイン遊歩道に敷設した除草シート）

4. 今後に残された課題

蓮池の土手補修は、まだ手を付けていない所も順次行い、雑草を抑え、ボランティアの労力軽減を図るため、残りの遊歩道に除草シートの敷設を行いたいと考えています。